



第26回白石記念講座

素材産業における研究開発

1. 期 日 平成6年7月13日(水)
 2. 場 所 東京 化学会館ホール (千代田区神田駿河台1-5 TEL03-3292-6162)
 3. 講演内容

1) 9:30~10:30 鉄鋼業の研究開発

NKK 技術開発本部 小指軍夫

研究開発投資に注力して来た日本鉄鋼業も現在重大な危機に遭遇しつつある。この機会に日本鉄鋼業の研究開発体制の現状、経時変化、特徴等を概観するとともに、欧米との国際比較を通して、現在の問題点について考察する。さらに将来的課題として、産学官あるいは企業間の共同研究・開発、国際協力の問題、関連学協会の役割の問題などについても触れる。

2) 10:30~11:30 繊維産業の研究開発

東レ(株) 岡本特別研究室 岡本三宣

繊維産業は、全世界的には今でも成長産業である。歴史的にも基幹産業で、切り口如何によるが成熟産業と言われる。国内の全繊維市場は昭和63年度で63兆円である。国内では、繊維関連から発展した大産業が極めて多い。例えば、自動織機から自動車工業を起こした会社が代表的である。鉄鋼業よりも以前に成熟期を迎えたとされる繊維産業が、その当時の繊維事業の研究開発の具体的な対処例を、①他事業へのパラダイムシフト例、②テクノロジーのシナジー効果の観点という私的な切り口から紹介し、コア事業を守るためにもパラダイムシフトが重要であった当時の全体像に敷衍している。

3) 11:40~12:40 化学工業の研究開発

三井石油化学工業(株) バイオ研究室 中野貴幸

日本の化学工業は、今大きな転機に直面している。産業としての成熟化が進む中で、業界再編と国際競争力の強化が大きな課題になっている。

ここでは、技術面から化学産業の成熟化への歩みを振り返り、成熟化に対してどのように対応すべきかを考察する。また、各社横並び思想を脱却し、新規事業の機会創出に貢献するために、研究開発はどのようにその役割を果たすべきかについても、私見を述べてみたい。

4) 13:30~14:30 素材産業におけるR&Dの役割と経済性

日本開発銀行 設備投資研究所 森谷英樹

素材の分野で、他の企業が優れた素材をより経済的に供給しだせば、その素材企業の存在基盤は失われてしまう。その意味で長期的な企業の繁栄を可能にする原動力はR&Dにある。しかしいわゆる最終財の生産者と違うのは、素材の需要家は企業であり購入に関わるのは、保守的な人間である場合が多い。そこで厄介なことは、素材開発の成果の配分(価格決定)が、技術だけではない多くの次元で決められる可能性が高いことであろう。以下では、素材価格、R&D投資の回収等を決定するものは何か、どのように考えたらよいか探ってみたい。

5) 14:30~15:30 エレクトロニクス分野における同業者間の共同研究開発

福島県立会津大学 コンピュータ理工学部 飯塚 隆

同業者間の共同研究開発の例として、通産省/民間企業によるプロジェクトによる超LSI共同研究所と光技術共同研究所について述べる。超LSI共同研究所は研究員約100名、昭和51年~55年度の4年間、光技術共同研究所は研究員約50名、昭和56年~62年度の6年間研究開発を行った。これらの共同研究が必要になった時代的、技術的背景、準備、組織作り、研究所設立、共同研究状況、研究成果、特徴、および波及効果などについて述べる。

6) 15:40~16:40 素材事業分野における研究開発の今後のあり方

大東文化大学 経済学部 山之内昭夫

①構造転換期の日本企業経営、②基礎素材事業分野に置ける研究・技術開発力の構築、③基礎素材事業関連企業の経営課題、④企業ビジョン・戦略と融合化した技術マネジメント、⑤素材事業分野の研究開発への要請、⑥望ましい研究開発体制の考察と提言…以上の点について述べる予定である。

4. 聴講無料(事前申込不要)

5. テキスト代 定価3,000円(消費税込み)

6. 問合せ先 (社)日本鉄鋼協会 編集・業務室 目黒・内藤 〒100 千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 TEL 03-3279-6021

第2回日本・カナダシンポジウム開催案内

The Second Canada-Japan Symposium

1. 会 期: 1994年8月22日(月)~24日(水)
 2. 会 場: トロント, シェラトンセンター
 3. 組織委員会: 委員長 佐野信雄(東京大学工学部教授)
 4. テーマ

2. Near Net Shape Castings of Steels
 3. Smelting Processes for Direct Steelmaking

5. 問合せ先

(社)日本鉄鋼協会 国際室 日・加シンポジウム担当 安藤
 TEL 03-3279-6021 FAX 03-3245-1355

1. Inclusions and Second Phase Particles in Steels

平成6年第128回秋季講演大会(平成6年10月8日(土)~10日(月))

講演大会概要用原稿用紙有料頒布

原稿用紙は当会指定の用紙をご使用ください。

申込方法: FAXでお申込ください。(FAX03-3241-3941 担当: 太田)

価 格: 1枚50円 10枚単位

講演申込締切: 平成6年7月7日(木)